



# ぎのわん 市議会だより

## 第62号

平成19年3月10日発行

### 宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号  
電話 (098) 893-4411 (内340)

印刷/有限会社 金城印刷



森川公園内の散歩道

## 平成17年度一般会計予算 歳入歳出決算を全会一致で認定！

# 十二月 定例会

第三二九回宜野湾市議会定例会は、十二月五日から十二月二十一日までの十七日間の会期で開かれました。今期定例会は、平成十八年度一般会計補正予算（第五号）をはじめ、宜野湾市職員定数条例の一部を改正する条例についてなど、二十一件の議案等が審議されました。

### 定例会の経過

会期十二月五日～十二月二十一日

本 会 議	
十二月五日 会期の決定及び提出議案 十二件（八ページ参照） の提案説明	十二月五日 会期の決定及び提出議案 十二件（八ページ参照） の提案説明
十二月七日 提出議案に対する議員の 質疑、常任委員会への審 査付託及び決議案の表決	十二月七日 提出議案に対する議員の 質疑、常任委員会への審 査付託及び決議案の表決
↑付託↓ 八日～十一日（二日間） 三常任委員会（総務・建設 ・経民）における議案審査 ↑報告↓	↑付託↓ 八日～十一日（二日間） 三常任委員会（総務・建設 ・経民）における議案審査 ↑報告↓
十二月十三日～二十日（六日間） 十九名の議員による一般 質問（三ページ以下参照）	十二月十三日～二十日（六日間） 十九名の議員による一般 質問（三ページ以下参照）
十二月二十一日 各常任委員会の審査報 告及び表決、条例三件、 補正予算七件、認定五 件、その他五件	十二月二十一日 各常任委員会の審査報 告及び表決、条例三件、 補正予算七件、認定五 件、その他五件
十二月十五日 総務常任委員会	十二月十五日 総務常任委員会
十二月十八日 基地特別委員会	十二月十八日 基地特別委員会
十二月十九日 基地特別委員会	十二月十九日 基地特別委員会
十二月二十日 総務常任委員会	十二月二十日 総務常任委員会
十二月二十日 議会運営委員会	十二月二十日 議会運営委員会
十二月二十日 総務常任委員会	十二月二十日 総務常任委員会

# 十二月定例会 主な議案の審議経過

## 平成十七年度一般会計 歳入歳出決算について

決算概要については、歳入の収入済額が約二百三十五億七〇〇万円、市税を主とした収入未済額が約十四億九、〇〇〇万円。歳出の支出済額が約二百三十二億一、〇〇〇万円、不用額が約二億七、四〇〇万円、翌年度繰越額約四、六〇〇万円となっており、

審査においては、市税に対する滞納整理収納対策事業の効果について、平成十六年度から滞納整理班が設置され、市税滞納繰越分の徴収率が前年度比二・五％アップしていることや、自主財源確保についての議論がなされており、また、本市のごみ排出量に関して、対前年度比で家庭系ごみ〇・五％減、事業系ごみ四・〇％増の状況、市民一人当たりの一日のごみ排出量は七七三グラムで全国的にも低い数値との説明。そのほか団体育成補助金のあり方や健康ぎのわん21の成果、市の債務状況などについても多くの議論がなされ、全会一致で認定されました。

## 職員定数条例の 一部改正について

消防職員採用後十カ月程度の初任教育訓練中における消防組織体制を、定数外職員により人員確保を図るための一部改正内容となっております。審査においては、本市の消防職員定数八十人の妥当性や定数外職員として取り扱うことの違法性などに関して議員から質疑等がなされ、それら

に対する市当局の答弁として人口十万人規模で消防職員数が百十五人、類似団体にいては百六人であり、本市の消防職員数が少ないことや、研修中の職員が長期にわたり業務に従事できない場合、定数外職員として取り扱うことは差し支えないとの県からの回答を得ているとの説明がなされました。なお、今回の提案については、団塊世代の大量退職を乗り切るための措置であり、緩和できた時点で廃止したいとのことで、全会一致で可決されました。



市役所前の消防本部

## 沖縄県後期高齢者医療 広域連合の設置

老人保健法の一部改正により、後期高齢者（七十五歳以上）医療の事務を処理するため都道府県の区域ごとにすべての市町村が加入する広域連合を平成十八年度末までに設置する内容です。

審査においては、広域連合設置のメリットとして、国からの補助率が大ききことや一般会計予算から老人医療特別会計への繰出金の減少などについて説明がなされており、全会一致で可決されました。

## 飲酒運転撲滅に 関する宣言決議

沖縄県の飲酒運転による交通事故の致死率は全国の二・七倍と高い比率を占め、死亡事故の飲酒運転の割合も十一年連続ワースト一の現状である。市民を守り安全で安心して暮らせる社会を確立するために、「運転するなら酒を飲まない、酒を飲んだら運転しない、酒を飲んだ人には運転させない」等の諸施策を強力に実践することを誓い、宣言する内容となっております。全会一致で可決されました。

## 市議会の活動状況(平成18年分)

### 1. 定例会・臨時会の開催等について

区分	会期日数	本会議日数	一般質問日数	傍聴人数	
定例会	3月 定例会	29日間	14日間	5日間	29人
	6月 定例会	18日間	7日間	4日間	50人
	9月 定例会	20日間	9日間	4日間	22人
	12月 定例会	17日間	9日間	6日間	42人
	小計	4回	84日間	39日間	19日間
臨時会	4回	4日間	4日間		2人
年間合計	8回	88日間	43日間	19日間	145人

### 2. 各委員会の会議日数等について

委員会名	内 訳	委員数	委員会開催日数		
			会期中	閉会中	合 計
総務常任委員会		9名	17日	4日	21日
建設常任委員会		9名	9日	0日	9日
経済民生教育常任委員会		9名	10日	2日	12日
議会運営委員会		10名	10日	10日	20日
基地関係特別委員会		10名	3日	0日	3日

## 議会日誌

- 平成十九年(一月)
- 10日 青森県八戸市より視察
- 16日 宮崎県宮崎市 " 視察
- 25日 経民常任委員会
- 福岡県築上町 " 視察
- 千葉県野田市 " 視察
- 29日 茨城県つくば市 " 視察
- 中部市議会議長会議員職員研修会

- 平成十九年(二月)
- 5日 茨城県筑西市より視察
- 6日 埼玉県上尾市 " 視察
- 8日 愛知県稲沢市 " 視察
- 13日 山口県岩国市 " 視察
- 15日 広島県府中市 " 視察
- 16日 熊本県八代市 " 視察
- 19日 富山県小矢部市 " 視察
- 20日 議会運営委員会
- 23日 議会運営委員会
- 27日 第三三〇回定例会

## 市議会を 傍聴しましょう!

本会議は、一般に公開されており、傍聴受付で住所、氏名等の記入をすれば、どなたでも自由に傍聴することができます。

市議会に關してのお問い合わせは、議会事務局までお願いします。



# 一般質問

今定例会は、次の19名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。なお、詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管してありますので御参照下さい。なお、市のホームページにも掲載しますので御利用下さい。

## 伊佐・伊利原市営住宅の建てかえ計画について

◎岸本一徳員 平成十六年度に機能低下調査を行っておりますが、現在の伊佐市営住宅の老朽化の現状は、どのような状態なのか。

◎建設部長 機能低下調査では、個別の改善を行うよりも建てかえが望ましいということで、住宅マスタープランの中でも、平成二十三年度までには建てかえを行うべきとの結論が出ております。

◎岸本一徳員 伊佐市営住宅の建てかえは、現在の場所を検討しているのか。それとも、

総合的な観点から伊佐・伊利原市営住宅をあわせて建てかえていく計画なのか。

◎建設部長 コスト縮減の観点から、高層化による市営住宅建設がよいと考えておりますが、日照権や景観の問題等があるのか、現在の場所建設するのか、それとも伊利原市営住宅と統合するかについては基本計画の中で検討してまいりたいと考えております。

◎岸本一徳員 伊佐・伊利原市営住宅の建てかえ事業の早期推進をお願いします。



老朽化した伊佐市営住宅

## 伊波市長のこれまでの市政運営について

◎桃原功議員 伊波市長の選挙公約の一つであった市民の信頼を回復できる市政の実現というのは、どのような成果があったのかお尋ねします。

◎助役 公共工事の入札制度改革の実施や、市民の声を市政にいかにつまみかという政にいかにつまみかということのご意見箱の設置、またわかりやすいホームページのリニューアル化等を取り組んでまいりました。

◎桃原功議員 平和行政を推進し、普天間飛行場の五年以内の閉鎖、早期返還を目指す

という取り組みで、これまで進んできたことの報告をお願いします。

◎基地政策部長 二度にわたる訪米要請行動を展開し、普天間飛行場の問題が日米両政府の課題としてテーブルにのせられたということが大きなことではないかと思えます。特に米国連邦議会に設置された海外基地見直し委員会で、普天間基地が固有名詞で返還が必要だと明記されたということも大きな成果ではないかと考えております。

## いじめ問題について

◎知念吉男議員 現在の小中学校の、いじめや不登校問題の状況についてお聞きします。

◎指導部長 過去五年間のもので、小学校が平成十四年六件、十五年三件、十六年一件、十七年一件、十八年三件。

中学校が平成十四年度から九件、十二件、四件、八件、八件の報告がございます。

原因については、小中学校とも不安や緊張、無気力等の本人にかかわる問題が一番多く、その次に、友人関係をめぐる問題となっております。

## 教育行政について

◎名城宏議員 いじめ問題とその対策について、非常に難しい問題だと思えますが、指導的体罰の是非について議論する必要があります。

◎教育長 教育委員会としては体罰によらない学校づくりに取り組んでいます。そのためには生徒との信頼関係、人権意識を持つ、夢を実現できるような学校をつくることを基本にしながら学校と一緒に取り組んでいます。

◎名城宏議員 今すぐ体罰をやりにさいではなく、教育委員会においてもいろいろな角度から、いじめ問題等にどう大人社会が対応していくか、一歩踏み込んで議論していただきたい。

◎教育長 教育問題等については保護者、民生委員、補導員等いろいろな方たちが日夜頑張っていますが、教育委員会としても、学校、関係機関等と一緒に討議をもっと深めていきたい。

◎名城宏議員 各関係機関等も一緒になって、いじめ問題解決に努力していただきたい。



### 嘉数小学校建てかえについて

◎**新垣善正議員** 嘉数小学校建てかえについては、平成十九年度基本設計、平成二十年から二十一年度にかけて建設予定と認識しております。該小学校は過大規模校であります。現在の規模を超える計画を立てているのか。

◎**教育部長** 文科省の考え方といたしまして、三十一学級以上の既設校の改築については補助採択をしないということがございます。また当該地域における新設校の可能性は非常に難しいということ。

何とか校区再編で乗り切っていくと準備を進めているところでございます。

◎**新垣善正議員** 子供たちの学習環境を整えるための建てかえなのですが、学校関係者との調整や協議はなされているのか。

◎**教育部長** 使い勝手や配置上の諸問題につきましても、学校側と十分相談しながら改築していく予定で、今後基本計画や実施計画の中で十分反映されるように手だてをとっているところでございます。



建てかえ予定の嘉数小学校校舎

### 児童虐待を根絶する取り組みについて

◎**伊波一男議員** 改正児童福祉法により市に児童虐待や非行、養育などの相談窓口が設置されておりますが、本市の相談件数等、現状について答弁を求めます。

◎**福祉保健部長** 本市においては、児童家庭課に設置する家庭児童相談室が窓口となっております。各種の相談件数は平成十七年度が三、八四五件、このうち児童虐待が一三八件となっております。

◎**伊波一男議員** 児童虐待は目に見えないところで起きて

いるため、相談員の増強も今後必要になるのではないかと。

◎**福祉保健部長** 現在、担当職員一名、嘱託員五名体制により電話、来所相談、さまざまな関係機関との連携による要保護児童の状況把握に努めているところであり、今後とも関係部署と協議をしながら相談窓口の充実強化に努めてまいります。

◎**伊波一男議員** ぜひ、子供たちの危機的な状況を相談できるような体制づくりをしていただきたい。

### 大山小学校の過密解消について

◎**伊佐光雄議員** 大山小学校の児童生徒は、日常の授業にも弊害が出ており、まさに現状では差別された教育環境で教育を受けていると認識しております。市長が就任して三年八月月になりませんが、何らめどがつかない。分離新設をいつやるのか。

◎**市長** 分離新設の可能性について検討してきたが、学校用地取得の困難性から残念ながら、そのめどはたっておりません。市としては、平成二十一年に大謝名小学校

の改築にあわせて校舎を増設することによって、校区再編でもって解決するということが調整できております。

◎**伊佐光雄議員** 分離新設するときには、当然これは用地が必要で、どこに確保する考えを持っておりますか。

◎**市長** やはり残されている土地は、大山田いも地域にしか用地は求められないだろうと思っております。

◎**伊佐光雄議員** そのまま放置したら大変なことになります。頑張ってください。

### 大山小学校の過密解消について

◎**比嘉憲康議員** 市長はこれまで、大謝名小学校の校舎増築に合わせて校区編成し、大山小学校の過密解消を図りたいとおっしゃっておりますが、宇地泊の区画整理事業の進捗状況等も踏まえて、現在どう考えているのか。

◎**助役** 校区再編することによって早急な過密解消が図れるのではということ提案しておりますが、現在、教育委員会では長期的視野に立って、新設分離校の可能性について、この一年間かけて再度検討し

たいということであり、お互い協議しながら過密解消に取り組んでまいります。

◎**比嘉憲康議員** 市長と教育委員会の意向は、校区編成と新設分離ということで食い違いがありますが、教育行政は教育委員会の意向を尊重すべきであると考えますが。

◎**市長** 教育委員会が基本的に同意いただけない案は、我々としては実行できないわけであり、この一年間教育委員会とともに協議してまいりたいと考えております。



過密解消が求められる大山小学校



### 西海岸開発について

◎又吉清義議員 まず、マリンスポーツの進捗状況について伺います。

◎企画部長 補助配分のおくれ等で、当初平成十六年度の完成予定が、十九年度となっております。現在、二十年度供用開始に向けて努力しています。

◎又吉清義議員 次に、都市機能用地のホテル開発は、

◎市民経済部長 当初予定の起工式は、手続等のおくれで延期されましたが、計画そのものは順調に進んでいます。

◎又吉清義議員 第二街区の協



開発の待たれる都市機能用地

定書には、第一街区のそれとは異なり、現地法人を立ち上げるための条項が抜けているが、そこでは現地法人を立ち上げるつもりはないのか。

◎助役 伊佐の方に支店が立ち上がっており、市としてはよい企業を誘致しながら、市内で企業を育成し、市の経済活性化に努めてまいりたい。

◎又吉清義議員 その辺の条件整備等、疑義を生じさせないためにも、一日も早い開発を目指して、もっと真剣に考えていただきたい。

### 不登校児童の現状と具体的な支援策について

◎喜舎場保議員 教育委員会が把握している小中学生の不登校児の人数と、その原因を教えてください。

◎指導部長 本市の不登校の児童生徒は、小学校で十三名、中学校で四十八名です。原因として、小学校は全員が心因性であり、中学校は心因性等が三十一名、遊び非行型が十七名となっております。

◎喜舎場保議員 心因性の子供たちに関し、いじめに起因して不登校になっている子供たちへのケアはどのように行

っているのか。

◎指導部長 学級担任を中心に家庭訪問や電話対応など心のつながりを第一にやっております。さらに市のカウンセラー等との指導も受けながら適応指導教室（若葉教室）でその子に応じた対応をやっております。

◎喜舎場保議員 予算、人員もなく対応することは難しいが、地域にはたくさんの人材がおりますので、学校、家庭、地域で子供を育てるといふことを考えていただきたい。

### 自治会育成について

◎島袋亀次議員 自治会の加入率を教えてください。

◎市民経済部長 平成十六年が四四・二二%、平成十七年が四〇・二七%、平成十八年が三八・三六%と年々低下している状況でございます。

◎島袋亀次議員 自治会への加入促進について、どのような方法を行っているのか。

◎市民経済部長 現在は市民課においてチラシ配布をやっておりますが、今後は関係部署とも連携を取りながら取り組んでまいりたい。

### 市立図書館の不明図書状況と対策について

◎呉屋等議員 昨年の新聞に、平成十六年度、市民図書館の不明本が二、一〇六冊との記事が掲載されました。この事態を受け、その後の対策とその効果についてお聞きします。

◎教育部長 この件については、職員が見回る等、気をつけておるが、入退館システムを導入していない本市では、一定程度の不明本は発生することになります。

◎呉屋等議員 過去十年間で不明本が二万五、六七四冊、金額にして約三、三〇〇万円。

この事実をどう考えているか。

◎教育部長 当該システムの初年度買い取り価格が約一千万円程度、またタグを取り付ける等、維持管理等を勘案すると、今後十分検討し、導入を図ってまいります。

◎呉屋等議員 この事実を、市民にしっかりと訴えていき、各市町村共通の問題を、本市がリーダーシップをとってやっていただきたい。



宜野湾市民図書館

◎市民経済部長 この三点について検討させてもらいたい。

◎島袋亀次議員 重々検討してもらい、ぜひそういう方策もとりながら、自治会加入の促進アップを図っていただきたい。

### 交通安全対策について

◎座間味好子議員 太陽薬局前の信号機設置について、大変厳しいことですが、意見を伺わせていただきたい。

◎市民経済部長 この箇所については、我々も必要と認識していますので粘り強く要請していきたいと考えています。

◎座間味好子議員 待つということであれば、予防策をとらないといけませんので、交通安全と渋滞の緩和策として

横断歩道と伊佐・大山線への右折路面標示の実現をお願いしたいと思いますが。

◎市民経済部長 横断歩道については、宜野湾警察署と協議しながら、早めに標示できるように検討したいと考えています。

◎建設部長 右折帯が設置できそうな幅がありますので、検討したいと思います。

◎座間味好子議員 伊佐一目パイプラインの道路中央線の消去と外側白線標示について、要請書が提出されていると思いますが、どうなったか。

◎建設部長 歩行者の安全性に有効だということで、今年度を実施する予定です。



伊佐の太陽薬局前交差点

### モノレールの本市への延伸について

◎仲村春松議員 六月定例会での本員のモノレール延伸についての質問に対し、部長より県に要請、提案等について検討してまいりたいと答弁しています。その後どのように対応したのか伺います。

◎企画部長 要請の件ですが、中部市町村会として取り組みをしている状況です。県との行政事務連絡会で、西原町までの延伸について要請をしており、八月には嘉数内閣府副大臣との懇談会で、中北部までの要請もしております。

◎仲村春松議員 ぜひ当局において本市のいろんな産業の発展、観光客誘致、そして普天間飛行場跡地の開発のためにも努力をしてもらいたい。市の将来の姿を決める本市総合計画の最高責任者である市長の御見解をお聞きしたい。

◎市長 定時定速の軌道交通は必要であり、普天間飛行場跡利用方針の中でも公共交通体系として、先進的な公共システムを整備する方針を定めるところです。市としても積極的に取り組んでまいりたい。

### 児童センター設置について

◎伊波秀男議員 児童センターを嘉数小学校の子供たちが利用しやすい真栄原地域に、そして中学校区でなく小学校区につくってほしいと陳情し、署名も提出しました。志真志団地につくった場合、陳情の趣旨にこたえるものですか。

◎福祉保健部長 必要性は十分感じています。その整備は市の施策事業であり、第三次総合計画の中の基本計画で施設の適正配置を検討する必要があると位置づけており、今後検討してまいります。

◎伊波秀男議員 先日、浦添市の児童センターを三力所見学してきましたが、各小学校区に幼稚園との複合施設などをつくるという考え方でやっております。本市では、今回嘉数小学校の建てかえがあり千載一遇のチャンスだと思えますが、どうでしょうか。

◎福祉保健部長 浦添市はSACCOの関連交付金を活用して建設されております。SACCO交付金の対象に本市はなりませんので、その対応が非常に厳しい状況にあります。

### 待機児童解消と認可外保育園の支援対策について

◎谷畑誠議員 前回の議会で待機児童を受け入れている認可外保育園は、本市の保育行政の一端を担っており、この現実や補助格差を考慮すると、どのような形で認可外保育園に助成できるか努力したいとの答弁がありました。来年度の予算にどのように反映させるのか。

◎福祉保健部長 今後の財政状況を見きわめながら、他市の支援状況を調査、分析する中で検討していきたい。

◎指導部長 施設借用については、学校施設の使用許可の申請をして校長からの認定が必要であります。また減免については、認可外保育園から市児童家庭課へ申請することにより可能です。



保育園内で遊ぶ子供たち



倉浜衛生施設組合の新炉建設について

◎前川朝平議員 毎年どのくらいの資金を捻出するのか、その財政計画はどうなのか。

◎市民経済部長 本市の負担分として、平成十八年度一億八、九六八万八、〇〇〇円、十九年度三億二、四一六万五、〇〇〇円、二十年度三億二、四一七万八、〇〇〇円、二十一年度は五億四、二〇六万七、〇〇〇円の予定です。

◎企画部長 財源対応ですが、自主財源の確保を図りながら、場合によっては、公共施設等整備基金等も活用せざるを得

ないのではと考えています。

◎前川朝平議員 機種選定に  
関し、最初から決めていたの  
ではないかという節があり、  
倉浜議会では的確な答弁がなかつ  
た。不可解な点がいくつかあ  
る中で副管理者である市長の  
見解をお聞きしたい。

◎市長 平成十六年に機種選定  
委員会からガス化熔融方式流  
動床式で答申を受け、一年半  
かけ、管理者会議の中で評価  
をした上で最終決定したもので  
あり、慎重に対応しながら  
決定をしたものである。



倉浜衛生施設組合(沖縄市)

青少年センターの取り組みについて

◎大城政利議員 青少年サポー  
トセンターの立ち上げに向け  
てシンポジウムが開催されま  
した。開催目的と設置に向け  
た進捗状況を伺いたい。

◎教育長 本市における不登  
校や遊び非行傾向の児童生徒  
の深刻な状況を知ってもらい、  
積極的な支援を行うにはどう  
すべきか、シンポジウムを開  
催しております。とりあえず  
最小限の準備室を置いて、役  
所の既存の施設内でなんとか  
できないか検討しております。

◎大城政利議員 子供たちの



複合型施設のはごろも学習センター

非行防止、健全育成、そのた  
めにつくったのが、はごろも  
学習センターではないですか。  
◎教育長 最近の青少年問題が、  
大きな社会問題となつて、もつ  
と対策を強化していくという  
ことで、青少年サポートセンター  
を設立していくということであ  
ります。

◎大城政利議員 はごろも学  
習センターをつくるときに、  
きちんと手を打てば厳しい状  
況にならなかつたのではない  
ですか。しっかり取り組んで  
いただきたい。

交通安全対策について

◎大城君子議員 子ども安全  
安心一斉行動の中で、保護者  
が危険な通学路として訴えて  
いる横断歩道の確認、点検を  
行いましたが、一般の人や障  
害者の皆様にも大きな問題で  
す。行政側は早目に信号や横断標  
示を手がけてほしいが、どの  
ように取り組みますか。

◎市民経済部長 危険箇所と  
思われるところは、信号機の  
設置など宜野湾警察署を經由  
して県公安委員会に要請して  
おるわけですが、なかなか実  
現がされないのが実情です。

◎市民経済部長 野高一区自  
治会の方からも六カ所ほどの  
要請がございますので、宜野  
湾警察署と協議しながら取り  
組んでまいります。

これからも逐次粘り強く頑張つ  
ていきたい。

◎大城君子議員 野高区民、  
市民の目線に立って、ぜひ信  
号の設置等お願いします。  
危なくて外出できないとい  
う高齢者の方や障害者の方の  
交通安全、安全確保をどのよ  
うに取り組みしたいと思つて  
おりますか。

◎市民経済部長 野高一区自  
治会の方からも六カ所ほどの  
要請がございますので、宜野  
湾警察署と協議しながら取り  
組んでまいります。



市道中原・野高1号(野高一区地内)

## 第329回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果	事件番号	事 件 名	議決結果
議案第67号	宜野湾市職員定数条例の一部を改正する条例について	原 可 案 決	認定第1号	平成17年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第89号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	原 可 案 決	認定第2号	平成17年度宜野湾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第90号	宜野湾市副市長定数条例の制定について	原 可 案 決	認定第3号	平成17年度宜野湾市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第91号	平成18年度宜野湾市一般会計補正予算(第5号)	原 可 案 決	認定第7号	平成17年度宜野湾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第92号	平成18年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原 可 案 決	認定第8号	平成17年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第93号	平成18年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原 可 案 決	決議案第1号	飲酒運転撲滅に関する宣言決議	原 可 案 決
議案第94号	平成18年度宜野湾都市計画字地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原 可 案 決	決議案第2号	米軍CH53E大型輸送ヘリコプターからの車両落下事故に対する抗議決議	原 可 案 決
議案第95号	平成18年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原 可 案 決	意見書第2号	米軍CH53E大型輸送ヘリコプターからの車両落下事故に関する意見書	原 可 案 決
議案第96号	平成18年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原 可 案 決	陳情第7号	平成19年度福祉関係予算及び施策の充実に ついての要請	閉会中の 継続審査
議案第97号	平成18年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算(第2号)	原 可 案 決	陳情第8号	宜野湾市のキャンプ瑞慶覧の返還について の要請	閉会中の 継続審査
議案第98号	交通事故に関する和解等について	同 意	陳情第9号	シルバー人材センター事業の拡大、援助、 助成の充実に ついての要請	閉会中の 継続審査
議案第99号	公園草刈作業中における車両事故に関する 和解等について	同 意		閉会中の継続審査申し出について 陳情第8号 宜野湾市のキャンプ瑞慶覧の 返還について の要請。	承 認 (総務常任 委員会)
議案第100号	沖縄県後期高齢者医療広域連合の設置につ いて	原 可 案 決		閉会中の継続審査申し出について 陳情第7号 平成19年度福祉関係予算及び 施策の充実に ついての要請。陳情第9号 シルバー人材センター事業の拡大、援助、 助成の充実に ついての要請。	承 認 (経済民生 教育常任 委員会)